

# 競技注意事項

1 この大会は、2024年日本陸上競技連盟規則および大会規定によって行う。

## 2 招集について

- (1) 選手招集場は、雨天練習場に設ける。
- (2) 招集完了時刻は、トラック競技15分前、フィールド競技30分前とする。  
但し、棒高跳については60分前とする。
- (3) 招集完了時刻に遅れた者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。  
但し、全国インターハイ出場者で特別枠を行使した選手は対象外とする。
- (4) 招集の手順
  - ①招集開始時刻に競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブスと競技用シューズの点検を受ける。
  - ②招集時の代理人は認めない。
  - ③2種目を同時に兼ねて出場する場合は、最初の競技の招集開始時刻までにあらかじめその旨を本人が競技者係に申し出たうえ、所定の用紙に必要事項を記入し、最初の競技の招集完了時刻までに提出する。  
(その際、招集を受けられない競技は原則として代理人を出すこと)

## 3 競技について

- (1) トラック競技はすべてタイムレースとする。1次予選を実施する種目においては、上位16名が2次予選に進出する。又、フィールド競技は3回の試技でトップ8を決定し、更に3回の試技を行う。  
(走高跳、棒高跳は除く)
- (2) レーン順、試技順はすべてプログラム記載の番号順とする。
- (3) リレーのオーダー用紙は、招集開始時刻の2時間から1時間前までに招集場に提出すること。
- (4) バーの上げ方は次の通りとする。(開始の高さについては出場者の実情に応じて設定する)  
走高跳 (男子) 1.30 50 70 (練) 1.35-40-45-50-55-60-65-70-75 以後3cmきざみ  
(女子) 1.05 25 45 (練) 1.10-15-20-25-30-35-40-45 以後3cmきざみ  
棒高跳 (男子) 3.00 3.50 4.00 (練) 3.00-3.10-3.20 以後10cmきざみ  
(女子) 2.00 2.50 3.00 (練) 2.00-2.10-2.20 以後10cmきざみ  
順位決定の際のバーの上げ下げは、走高跳2cm・棒高跳5cmとする。
- (5) やりは競技場備え付けのものを用意するが、検査を受けて自己の物を使用してもよい。但し、借り上げた後は検査を受けたやりはどれを使用しても良い。検査場所、時刻は下記の通り。  
検査場所・・・100mゴール側用器具庫前  
検査時刻・・・男子 1日目(7/20) 8:30～8:50  
女子 1日目(7/20) 10:30～10:50
- (6) 棒高跳用ポールは自己のものを使用するものとするが、跳躍審判員の点検を受けること。
- (7) リレーメンバーのユニフォームは形状を統一する必要はないが、デザイン、配色は統一すること。
- (8) スパイクの長さは、9mmを越えてはならない。(走高跳、やり投は12mm)
- (9) 三段跳の踏切板は男子11m00 女子は9m00板を使用する。
- (10) 競技規則TR5.2に適合しないシューズの使用は認めない。ただし、踵より前底部の靴底が厚いフィールド競技用シューズについてはTR5.2の適用を除外する(三段跳用)。